

# 公共交通オープンデータチャレンジ 2025 ～ powered by Project LINKS ～

**別所 正博 Masahiro BESSHO**

INIAD (東洋大学情報連携学部) 教授

公共交通オープンデータ協議会 事務局

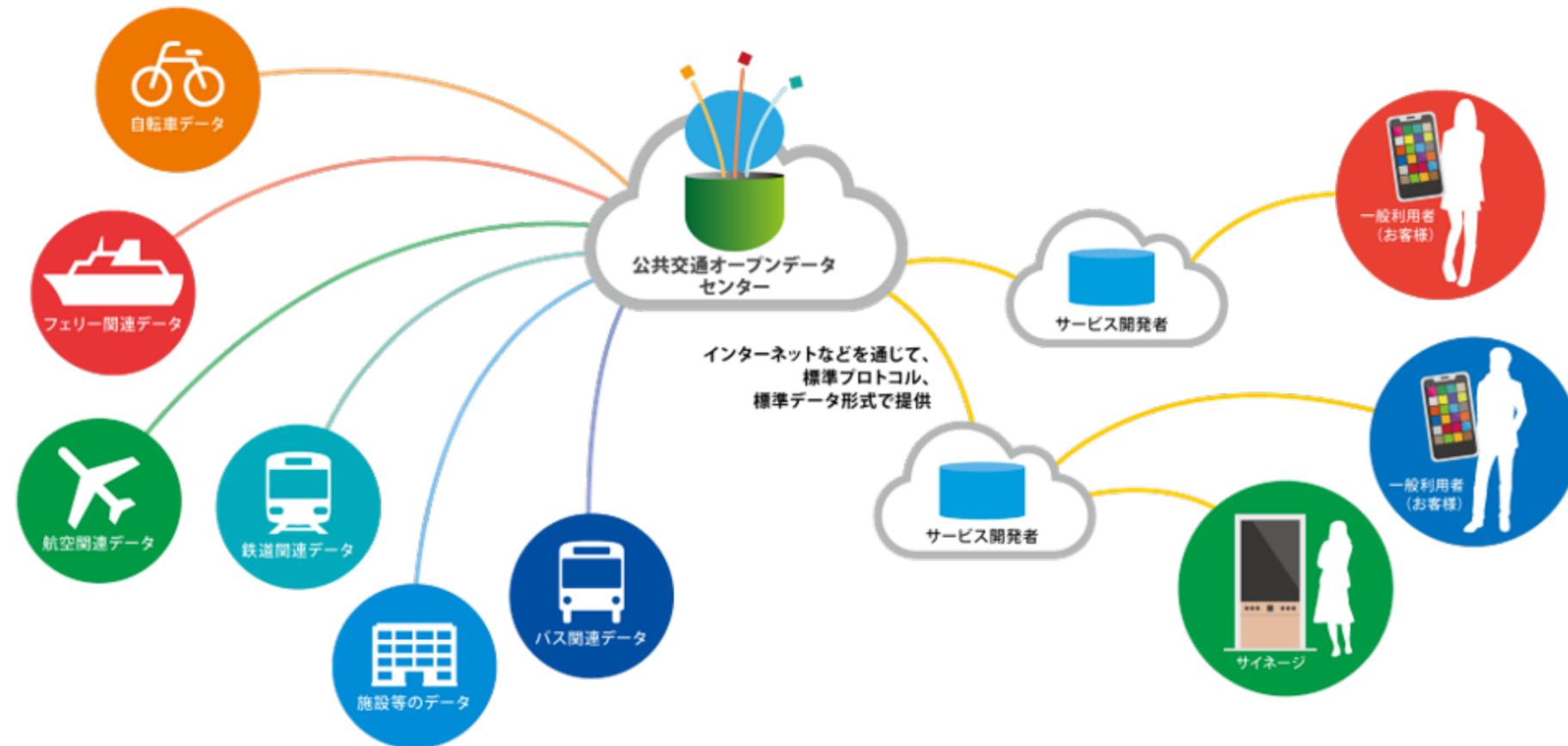
①

# 公共交通 オープンデータ協議会

# 公共交通オープンデータ協議会 (ODPT)

<https://www.odpt.org/>

- 2015年9月に設立された、公共交通事業者、地方自治体、ICT事業者等から構成される、産官学連携の協議会（会長：坂村 健）
  - 鉄道、バス、航空、フェリー、シェアサイクル等の交通関連データのオープン化に向けて活動
  - リアルタイムデータ（鉄道の運行情報、バスロケーション情報）のオープンな流通にも取り組む



# そもそもオープンデータとは？

- 公共性の高いデータを、自由に利用できるように、オープンライセンスで提供するもの
  - 日本では行政分野のデータを指すことが多いが、科学の分野のデータを指すことや、民間事業者などが提供する情報も含むことも
- 国内では、以下の定義が参照されることが多い

国、地方公共団体及び事業者が保有する官民データのうち、国民誰もがインターネット等を通じて容易に利用（加工、編集、再配布等）できるよう、次のいずれの項目にも該当する形で公開されたデータをオープンデータと定義する。

- 営利目的、非営利目的を問わず**二次利用可能なルール**が適用されたもの
- **機械判読**に適したもの
- **無償で利用**できるもの

〈参照：オープンデータ基本指針（平成29年5月30日高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部・官民データ活用推進戦略会議決定）〉

# 公共交通オープンデータセンター

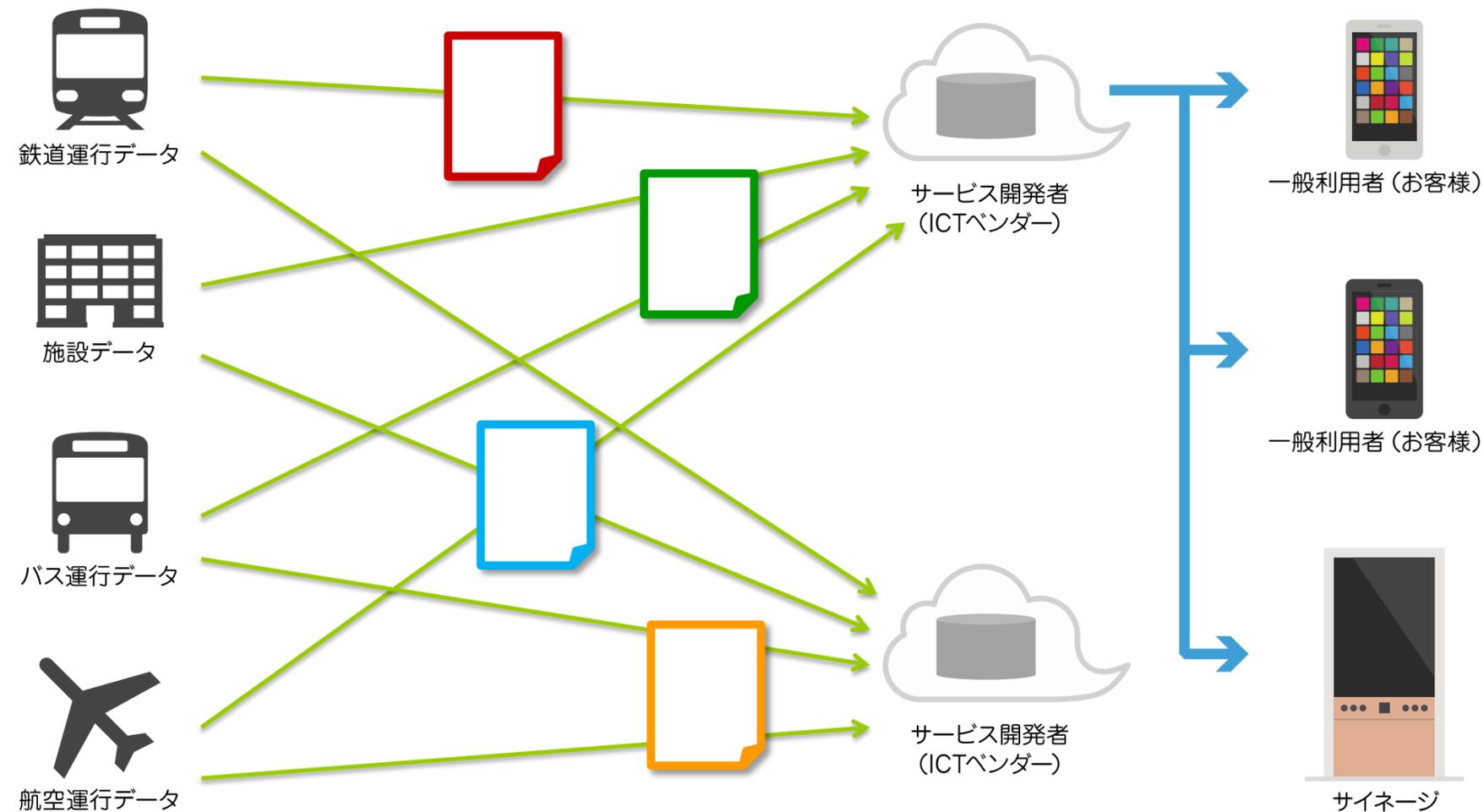
日本における公共交通事業者とデータ利用者を結ぶ  
データ連携プラットフォームとして、2019年5月に運用を開始



オープン・イノベーションの源泉を目指す

# これまでは...

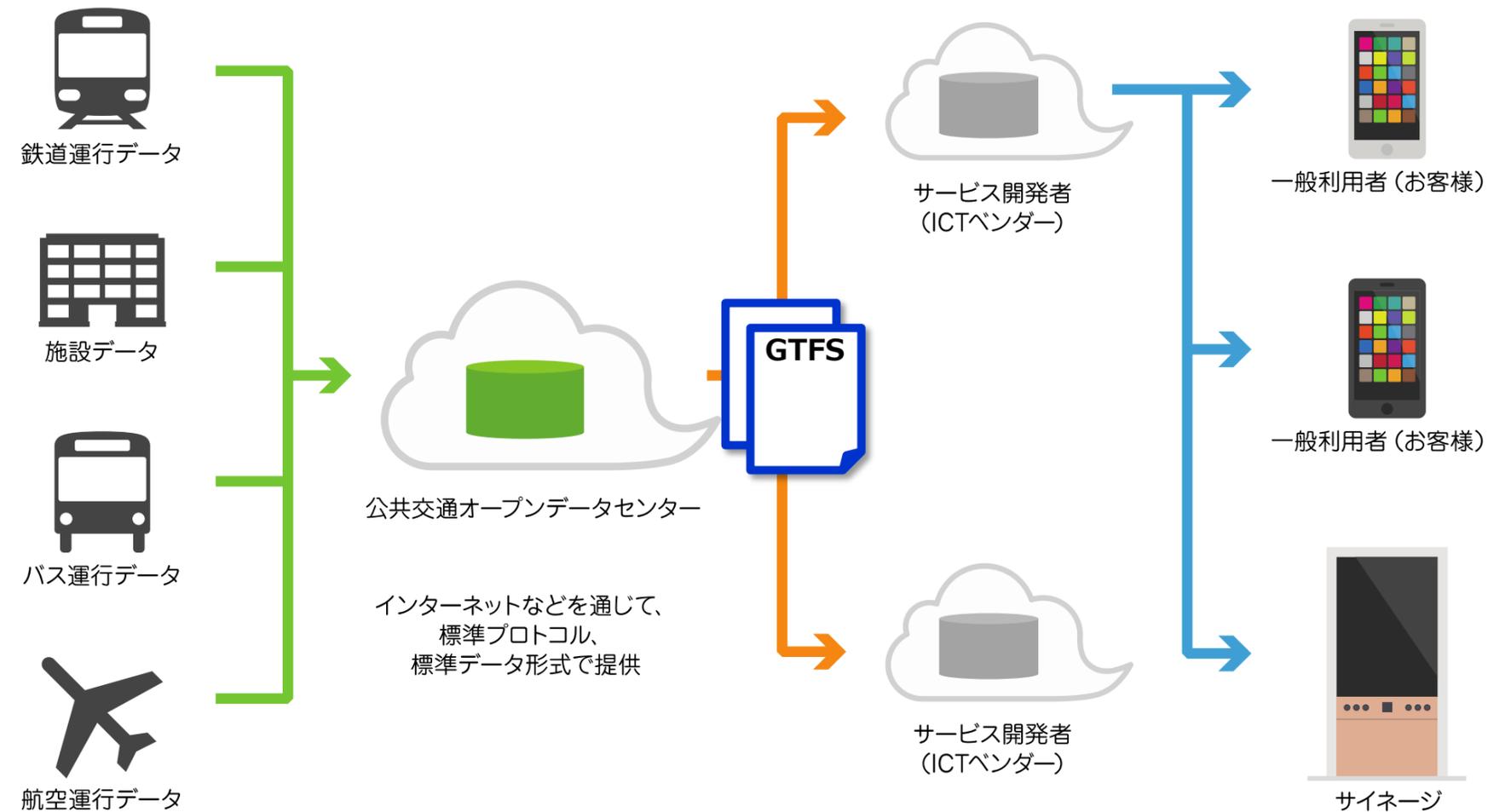
- 多数の交通事業者から、バラバラのフォーマットのデータを集めなければ、サービスを構築できない
  - ✓ 個人開発者やスタートアップ：「素晴らしいアイデア」を思いついても、参入できない
  - ✓ 交通事業者：自社データが乗換案内サービスに届かなければ、掲載されない



# 公共交通オープンデータセンターがあれば...

## ● 公共交通データを **GTFS** などの標準フォーマットで流通

- ✓ 個人開発者やスタートアップ：さまざまなアイデアを、サービスとして形にすることも可能に！
- ✓ 交通事業者：自社データが素早く乗換案内サービスに反映される！



# GTFS とは？

## ● GTFS とは...

- General Transit Feed Specification の略
- 公共交通機関の時刻表と地理的情報に関するオープンフォーマット
- 元はGoogleマップに公共交通機関のデータを取り込むためにGoogleが定めたフォーマットだが、現在はデータ仕様もオープン化されている



## ● 現在では...

- ✓ 国内外の様々な乗換案内サービスにおいて活用
- ✓ 日本では、特にバスやフェリーを中心に、国土交通省が中心となり、GTFSデータの整備とオープンデータ化を推進
- ✓ グローバルには、**MobilityData** がデータ仕様をオープンなプロセスで管理

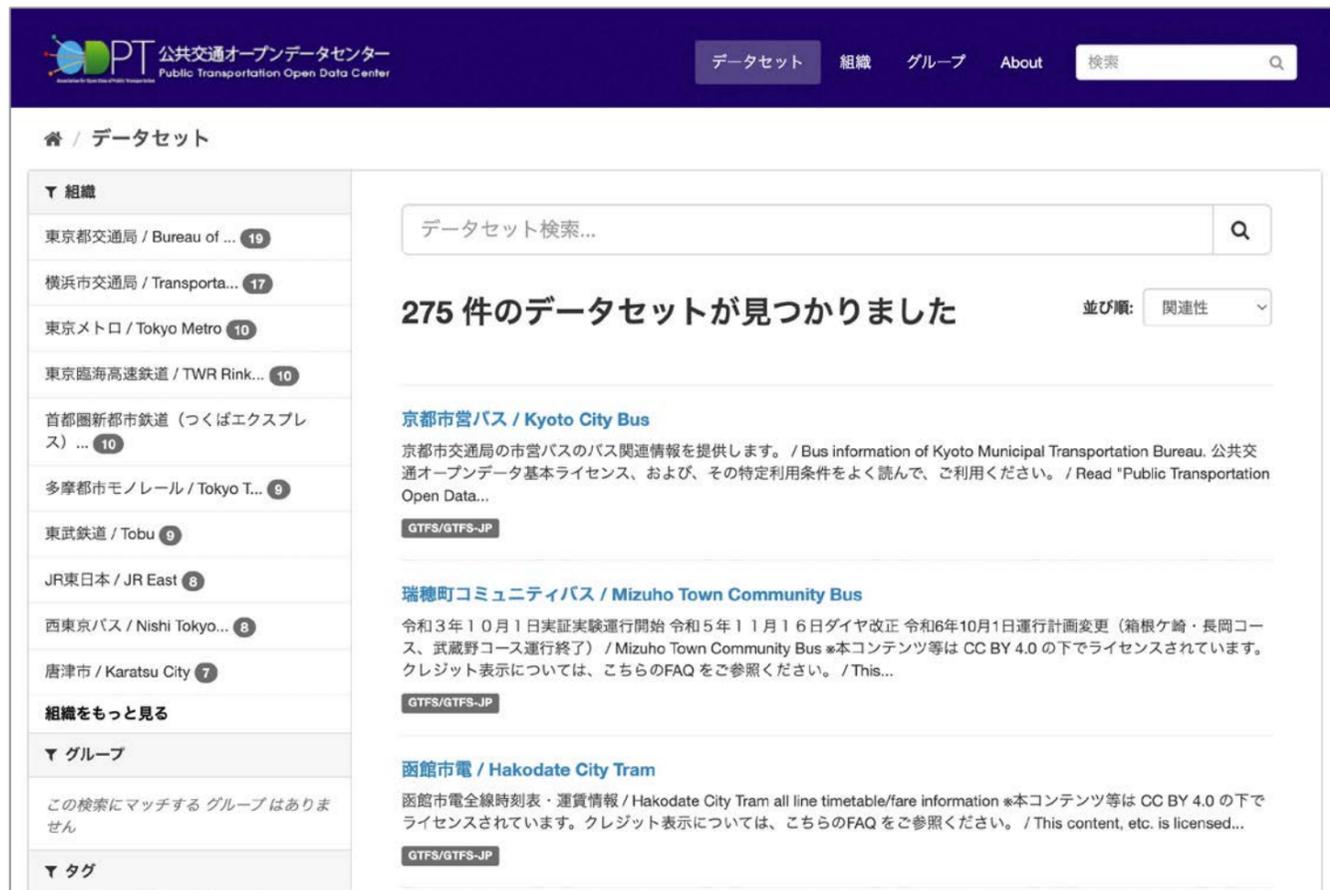
# ODPT と MobilityData

- 2022年より、ODPT と MobilityData は、持続的なモビリティサービスおよびモビリティ分野のオープンデータの幅広い利活用に向けて提携
  - MobilityData : GTFS / GBFSをはじめとした、公共交通データの国際的な標準化を推進する非営利団体



# ODPTセンター

- 公共交通データの利用者（開発者）の皆様には、以下のサイトを運用
  - [左] カタログサイト：公開されているデータを確認することができる
  - [右] 開発者サイト：開発者登録や技術情報の提供



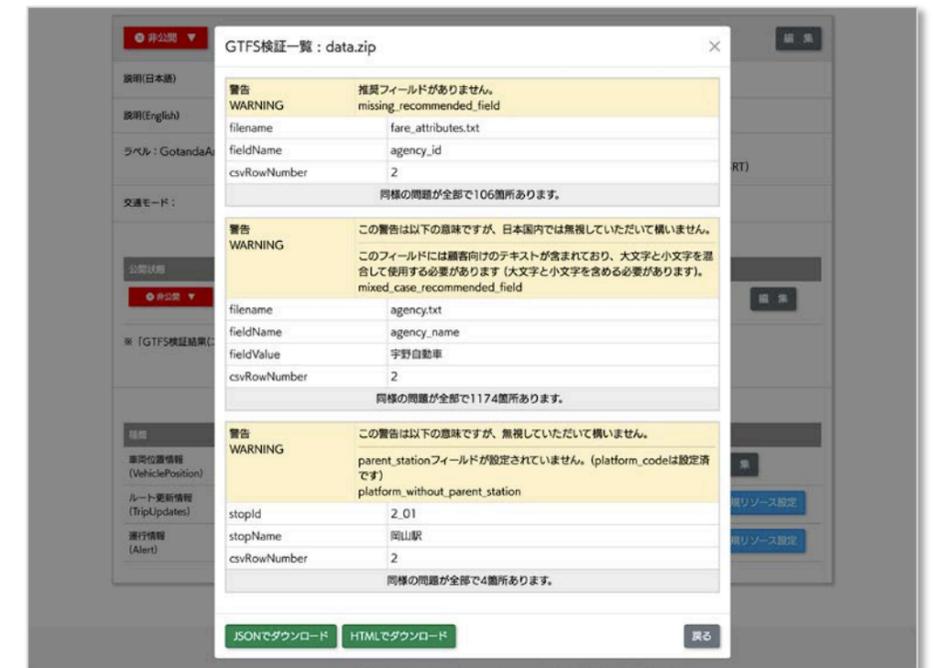
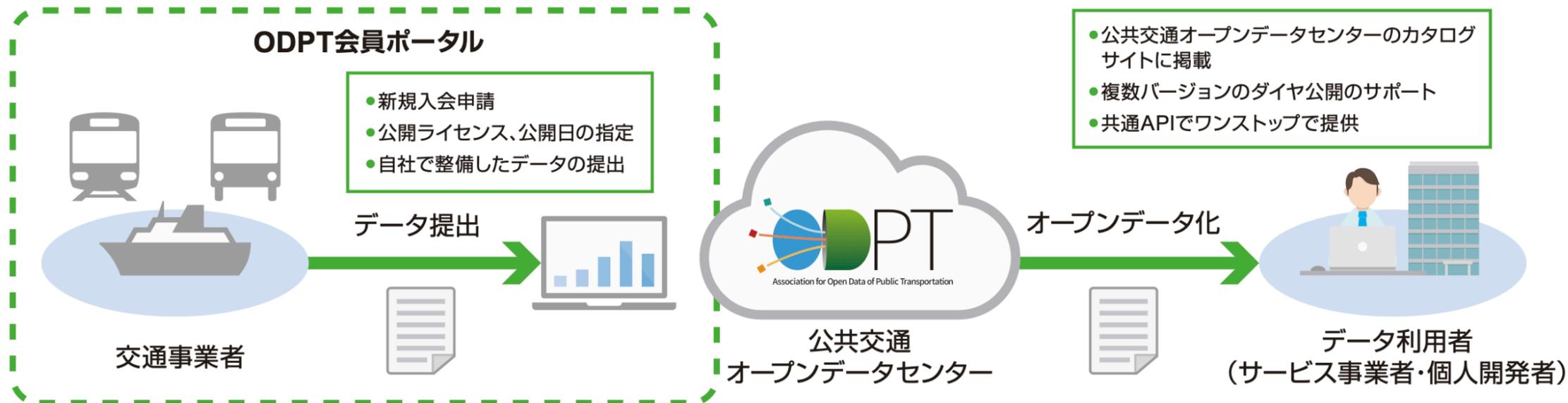
<https://ckan.odpt.org/>



<https://developer.odpt.org/>

# ODPT会員ポータル

- 交通事業者の皆様には、自社で整備した GTFS データ等を簡単に掲載するためのポータルサイトを運用
  - ワンストップな協議会への入会申請
  - ワンストップな公共交通オープンデータセンターへのデータ掲載
- 以下のような機能も提供
  - MobilityData のバリデータと連携し、GTFSデータの自動チェック、日本語でのフィードバック機能
  - 公開するデータに適用するライセンスを選択する機能



# ODPTセンターでのライセンスの扱い

- ODPTセンターで公開するデータに適用するライセンスについては、データホルダーである交通事業者の方の判断を尊重
- ✓ CC BY 4.0
  - オープンデータで広く採用されているライセンス
  - 適切なクレジットを表記することを条件に、営利・非営利を問わず、自由に複製・再配布・改変できる
  - ODPTセンターでは、開発者として登録していなくてもアクセスできます
- ✓ ODPT基本ライセンス
  - 交通事業者様のご懸念（古い時刻表が出回り、利用者の利便性を損なう懸念など）を踏まえたライセンス
  - 一般的なオープンデータと同様に、営利・非営利を問わず、データを利用できる
  - データの転々流通に制限を行っているほか、いくつかの制約（データが変更された場合の更新を求める点など）がある
  - ODPTセンターでは、開発者として登録した方のみアクセスすることができます
- ✓ その他のライセンス
  - 上記以外の独自ライセンスも設定することができます

# 現在のデータ公開状況

- 2025年8月7日現在、**110**組織による**302**件のデータセットを公開中
- 以下のリアルタイムデータを含む
  - 鉄道（リアルタイム在線データ）：都営地下鉄、東京さくらトラム、横浜市営地下鉄、函館市電
  - バス（バスロケーションデータ）：都営バス、西武バス、京王バス、横浜市営バス、関東バス、川崎鶴見臨港バス、川崎市バス、西東京バス、京福バス、伊予鉄バス、青森市営バス、伊豆箱根バス、関越交通バス、京都バス、下電バス、日本中央バス、宇野自動車、群馬バス、京成トランジットバス、拓殖バス、船木鉄道、群馬中央バス、永井バス、秋葉バス、上信観光バス、きよバス、杉並区グリーンスローモビリティ
  - 航空：全日空、日本航空のリアルタイム出発・到着情報
  - シェアサイクル：ドコモ・バイクシェア、OpenStreetの GBFS データを全国規模で提供
  - ※JR東日本および東武鉄道の GTFS Realtime もコンテスト限りで公開
- 乗換案内サービスをはじめ、様々なサービスが本格的に利用中
  - Google マップ、Yahoo! マップ、Appleマップ、ジオルダン、Navitime等によるリアルタイムデータの活用
  - フェリー事業者の航路データの Google マップへの掲載
  - デジタルサイネージでの活用



特に注目を集めているのは...

# GTFS Realtime (リアルタイムデータ)

鉄道がどこを走っているか、バスがどこを走っているかのデータを、  
リアルタイムに提供

# 事例：Google マップへのバスロケーションデータの掲載

- Google マップに、複数のバス事業者のリアルタイム位置情報を提供

- 都営バス：<https://www.odpt.org/2020/08/19/press20200819/>
- 西武バス：[https://www.odpt.org/2021/05/25/press20210525\\_seibu/](https://www.odpt.org/2021/05/25/press20210525_seibu/)
- 横浜市営バス：[https://www.odpt.org/2021/05/25/press20210525\\_yokoahama/](https://www.odpt.org/2021/05/25/press20210525_yokoahama/)
- 京王バス：<https://www.odpt.org/2023/09/01/press0901/>
- 伊豆箱根バス：[https://www.odpt.org/2025/01/20/press20250120\\_izuhakone/](https://www.odpt.org/2025/01/20/press20250120_izuhakone/)
- 京都バス：[https://www.odpt.org/2025/08/05/press20250805\\_kyotobus/](https://www.odpt.org/2025/08/05/press20250805_kyotobus/)



©Google



©Google



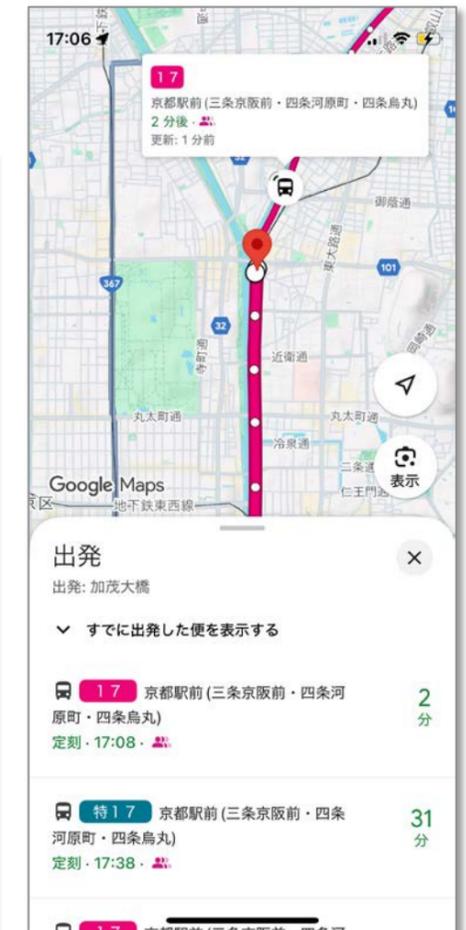
©Google



©Google



©Google



©Google

# 事例：Google マップへの鉄道リアルタイムデータの掲載

- Google マップに、複数の鉄道事業者のリアルタイム位置情報を提供



©Google



©Google



©Google

出典：<https://www.odpt.org/2021/02/01/press20210201/>

# 事例：Appleマップへの掲載

## ● Appleマップに、複数の公共交通機関のリアルタイム位置情報を提供

- 東京都交通局（都営バス）
- 横浜市交通局（横浜市営バス）
- 東京都交通局（都営地下鉄、東京さくらトラム）
- 横浜市交通局（横浜市営地下鉄）
- 京王電鉄バス株式会社（京王バス）
- 西武バス株式会社（西武バス）
- 函館市企業局（函館市電）
- 青森市企業局交通部（青森市営バス）
- 日本中央バス株式会社（日本中央バス）
- 永井運輸株式会社（永井バス、玉村町乗合タクシーたまりん）
- 株式会社群馬バス（群馬バス）
- 京成トランジットバス株式会社（京成トランジットバス）
- 伊豆箱根バス株式会社（伊豆箱根バス）
- 川崎市交通局（川崎市バス）
- 川崎鶴見臨港バス株式会社（川崎鶴見臨港バス）
- 清瀬市（きよバス）
- 京都バス株式会社（京都バス）
- 宇野自動車株式会社（宇野バス）



©Apple

出典：<https://www.odpt.org/2024/08/07/press20240807/>

# 事例：Yahoo! マップへの掲載

- 乗換検索アプリ「Yahoo!乗換案内」において、都営地下鉄、都営バス、や横浜市営バス、西武バスなどのリアルタイムデータを掲載
  - リアルタイムな位置情報や遅延情報などを提供



出典: <https://www.odpt.org/2021/02/25/press20210225/>

# 事例：ジョルダン「乗換案内」への掲載

- ジョルダン「乗換案内」アプリにおいて、以下のデータを掲載
  - 都営地下鉄各路線の列車ロケーションデータ
  - 横浜市営バスのバスロケーションデータ
  - 西武バスのバスロケーションデータ

【バス混雑状況提供イメージ】



【バス接近情報提供イメージ】



出典: [https://www.jorudan.co.jp/company/data/pdf\\_pr/20201221\\_crowd-bus.pdf](https://www.jorudan.co.jp/company/data/pdf_pr/20201221_crowd-bus.pdf)

出典: [https://www.jorudan.co.jp/company/data/pdf\\_pr/20210902\\_seibus-buslocation.pdf](https://www.jorudan.co.jp/company/data/pdf_pr/20210902_seibus-buslocation.pdf)

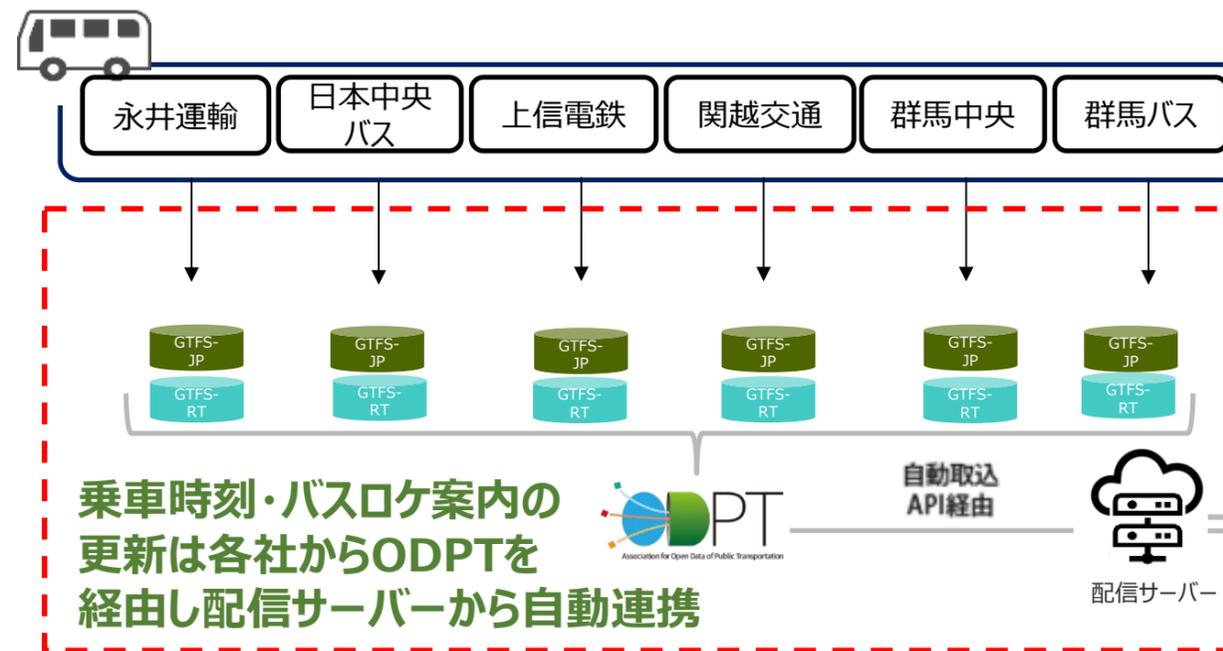
# サイネージ等でのデータ活用も...

GTFS形式のオープンデータを活用したデジタルサイネージ  
バス事業者が自社の案内に活用する事例も

# 事例：サイネージにおけるデータ活用例 (富士フィルムイメージングシステムズ)

- JR前橋駅前のデジタルサイネージにおいて、前橋市のバス事業者6社の GTFS/GTFS-RT をODPTセンターに集約・配信し、時刻表や運行情報を1つのサイネージで表示

- 永井運輸/日本中央バス/上信観光バス/関越交通/群馬中央バス/群馬バス
- アラート情報を活用し、緊急情報も配信



# 事例：その看板 (Sujiya Systems & Kamome Create.)

## ● バス事業者のために開発されたGTFS対応サイネージ

**GTFS対応デジタルサイネージ**  
自作したGTFSで業者依存せずに稼働できる。

サイネージ業者に毎回費用を払って専用データを作ってもらったりする必要がなくなります。

青森県（青森市営バス）



岡山県（宇野自動車）



**GTFSのみで直接稼働**

**GTFSを自ら作成するメリット**  
大切なバス利用者に正しい案内ができる。

2024年9月3日  
セミナー資料

群馬県（永井運輸）



# 鉄道・バス以外のデータも...

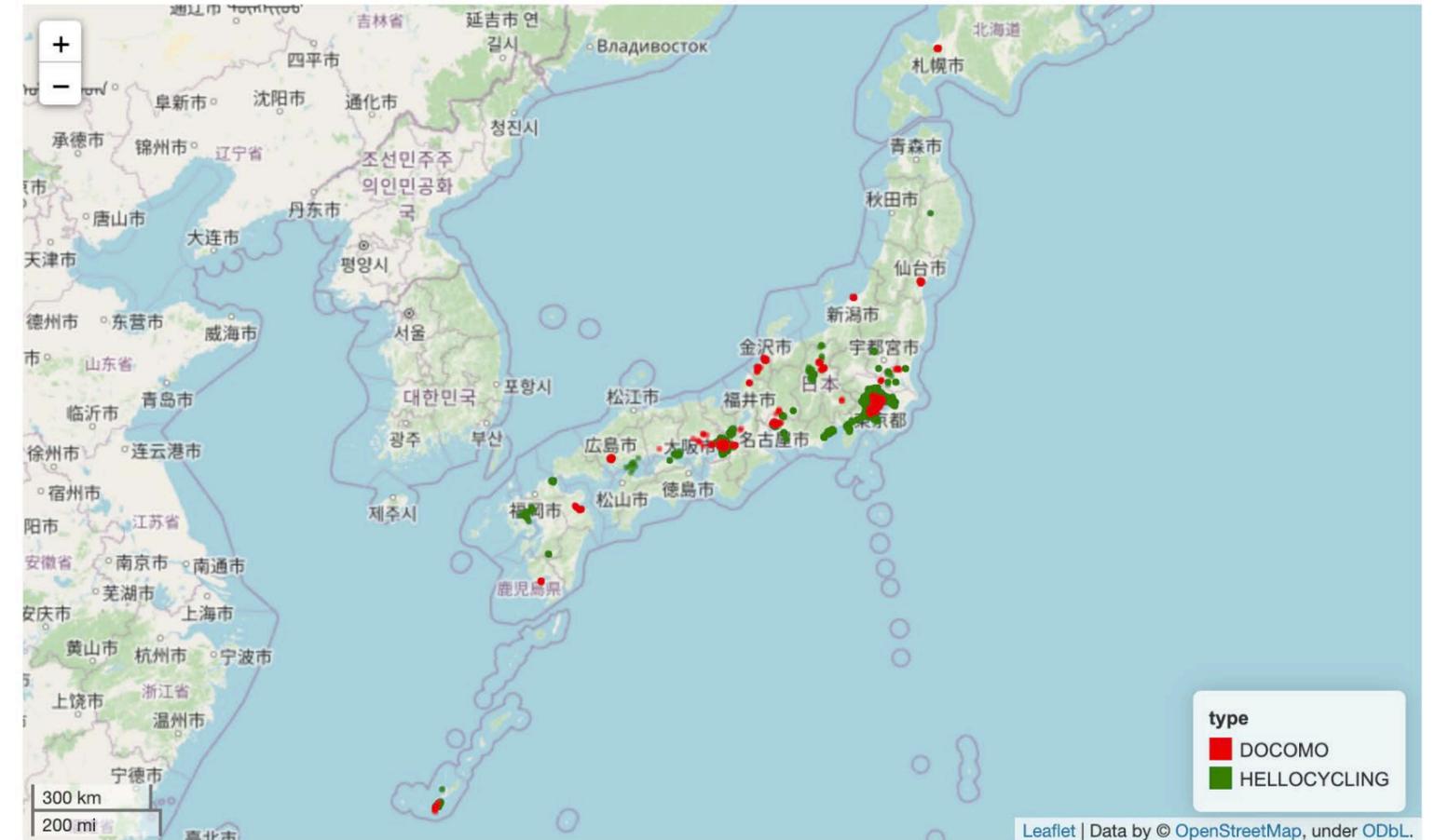
シェアサイクルのステーション・空き状況や  
フェリーのデータも扱っています

# 事例：シェアサイクルのオープンデータ化

- OpenStreet およびドコモ・バイクシェアのデータを、GBFS形式で公開
  - シェアサイクルのドックの位置情報やリアルタイムな空き情報をオープンデータとして公開
  - 東京都環境局と連携した「自転車シェアリングのオープンデータ化推進事業」の一環で開始したが、全国に拡大

## GBFS : General Bikeshare Feed Specification

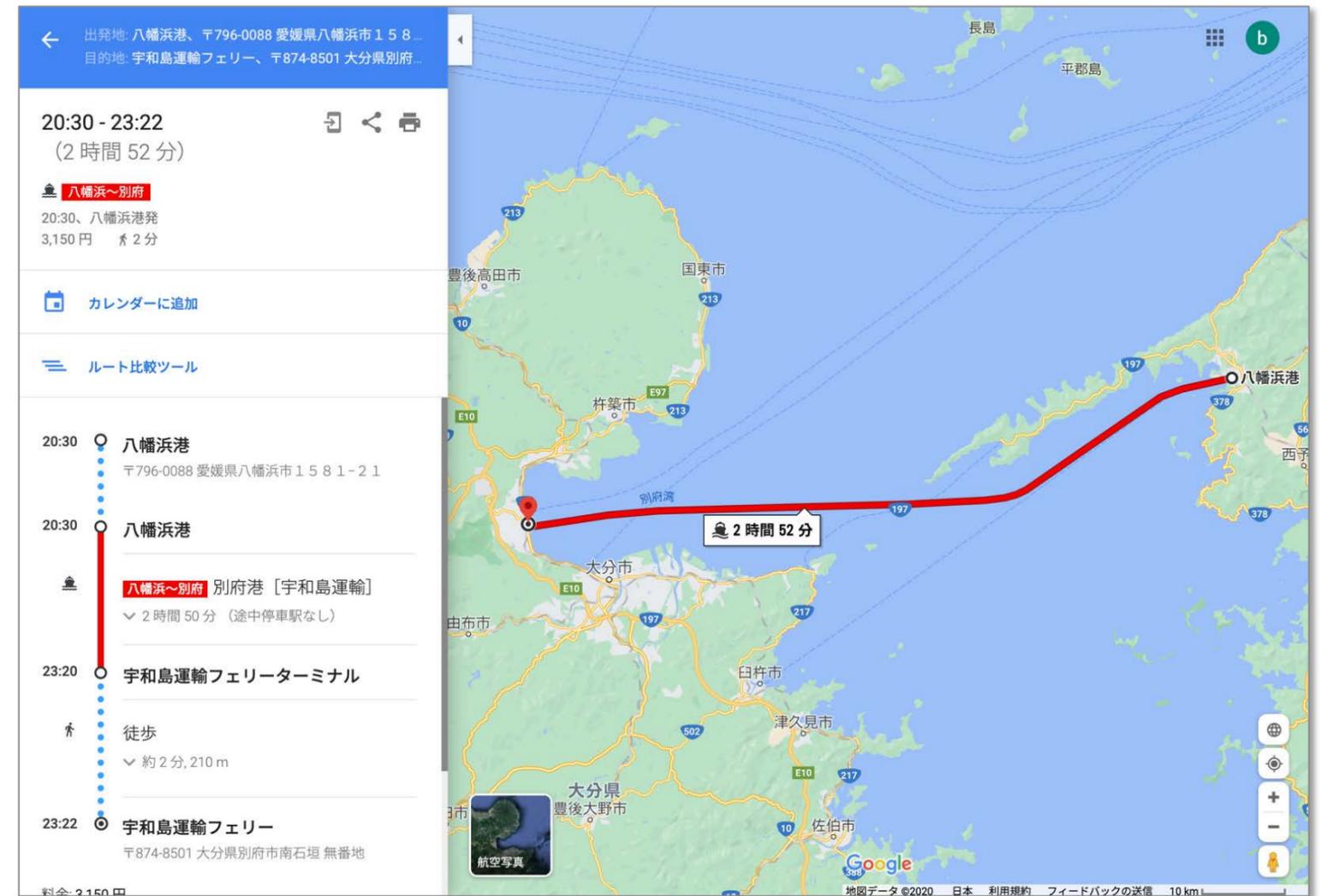
- マイクロモビリティの標準的なフォーマット規格
- North American Bikeshare Association (NABSA) が中心となり作成された規格
- 現在は GTFS と同様に MobilityData が管理



# 事例：Google マップへのフェリーデータの掲載

- 公共交通オープンデータセンターを通じて、Google マップに以下のフェリー事業者の航路データを掲載

- 宇和島運輸
- 名門大洋フェリー
- 日豊汽船
- 酒田市定期航路事業所
- 姫島村
- 日南市
- 三和商船株式会社
- 鹿児島市船舶局（桜島フェリー）
- 東京都観光汽船



©Google

# 公共交通オープンデータから始まる イノベーションを

“交通空白”解消へ——アイデアと技術のチカラ

## 公共交通オープンデータチャレンジ2025

— powered by Project LINKS —



公共交通オープンデータの活用を競う、通算6回目のアプリケーションコンテスト

公共交通オープンデータ協議会と国土交通省が主催

コンテスト実施期間：2025年7月1日（火）～2026年3月13日（金）

応募期間：2025年10月1日（水）～2026年1月12日（月・祝）

## ● スケジュール

- コンテスト実施期間：2025年7月1日（火）～2026年3月13日（金）
- 応募期間：2025年10月1日（水）～2026年1月12日（月・祝）
- 一次審査：2026年1月24日（土）～2026年1月25日（日）
- 最終審査会・表彰式：2026年2月21日（土）

## ● 実施概要

- 公共交通オープンデータを含めた様々なデータを最大限に活用し、地方での課題解決や新しいデータの活用を目指したアプリケーションやサービスを募集
- 関係各所の協力の下、GTFSやGBFSを中心とした、充実した公共交通データをオープンデータとして提供
- さらにチャレンジ期間中、時限的に営利利用可能な公共交通データも提供

## ● 国土交通省 Project LINKSとの連携

- 国土交通省の分野横断的なDX推進プロジェクト
- これまで活用されてこなかった様々な行政情報を「データ」として再構築し、データに基づく政策立案の推進（EBPM）や、新たなビジネス創出（オープン・イノベーション）の実現を目指す

# 国土交通省 COMmmONS との連携

- 国土交通省による「交通空白」解消など地域交通の「リ・デザイン」の全面展開を目指す、地域交通DX推進プロジェクト COMmmONS とも連携



「交通空白」解消など地域交通の「リ・デザイン」の全面展開を進めるため、

**サービス**  
**データ**  
**マネジメント**  
**ビジネスプロセス**

の4つの観点からデジタル活用を一体的に推進し、地域交通の持続可能性、利便性、生産性向上を実現する

**地域交通DX推進プロジェクト**  
**COMmmONS (コモンズ)**

を新たにスタートします。

サービス  
Mobility Service

データ取得

データ  
Mobility Data Integration

データ分析

ビジネスプロセス  
Productivity Improvement

マネジメント  
Mobility Policies

政策実施

TOP | INFORMATION | ABOUT | PROJECT REPORT | EVENT

↑ PAGE TOP

- **主催**：公共交通オープンデータ協議会、国土交通省
- **共催**：INIAD cHUB（東洋大学情報連携学 学術実業連携機構）、東京大学大学院情報学環ユビキタス情報社会基盤研究センター、一般社団法人社会基盤情報流通推進協議会（AIGID）
- **特別協力**：東京都、東日本旅客鉄道株式会社、グーグル合同会社、MobilityData、YRPユビキタス・ネットワーキング研究所
- **協力**：
  - <鉄道> 明知鉄道株式会社、伊勢鉄道株式会社、小田急電鉄株式会社、京都市交通局、熊本市交通局、熊本電気鉄道株式会社、京王電鉄株式会社、京浜急行電鉄株式会社、相模鉄道株式会社、首都圏新都市鉄道株式会社、西武鉄道株式会社、多摩都市モノレール株式会社、東急電鉄株式会社、東京地下鉄株式会社、東京都交通局、東京臨海高速鉄道株式会社、東武鉄道株式会社、富山地方鉄道、日本貨物鉄道株式会社、函館市企業局、東日本旅客鉄道株式会社、万葉線株式会社、山形鉄道株式会社、株式会社ゆりかもめ、横浜市交通局
  - <路線バス> あおい交通、青森市企業局交通部、秋葉バスサービス株式会社、阿佐海岸鉄道株式会社、伊豆箱根バス株式会社、糸魚川バス株式会社、伊予鉄バス株式会社、羽後交通株式会社、宇野自動車、大島旅客自動車株式会社、大利根交通自動車株式会社、小田急バス株式会社、加越能バス、神奈川中央交通株式会社、川崎市交通局、川崎鶴見臨港バス株式会社、岩宇地域公共交通活性化協議会、関越交通株式会社、関東バス株式会社、北恵那交通、北設楽郡公共交通活性化協議会、京都市交通局、京都バス株式会社、NPO法人清里観光振興会、草軽交通株式会社、くしもと観光周遊バス推進協議会、熊野御坊南海バス株式会社、有限会社黒岩観光、群馬中央バス株式会社、株式会社群馬バス、京王電鉄バス株式会社、京成バス千葉ウエスト株式会社、京福バス株式会社、株式会社県交北部交通、株式会社高知駅前観光、公益財団法人高知県観光コンベンション協会、高知高陵交通株式会社、高知西南交通株式会社、高知東部交通株式会社、国際興業株式会社、琴参バス株式会社、ジェイアール四国バス株式会社 高知支店、株式会社四万十交通、下津井電鉄株式会社、十王自動車株式会社、株式会社上信観光バス、小豆島オーリーブバス株式会社、庄内交通、白鳥交通、神姫観光、新常磐交通株式会社、生活バス四日市、西讃観光、西武バス株式会社、相鉄バス株式会社、大新東株式会社、株式会社タケヤ交通、千曲バス株式会社、ちばレインボーバス株式会社、中紀バス、つくば観光交通株式会社、東急バス株式会社、東京都交通局、東濃鉄道、東武バス株式会社、徳島市交通局、徳島バス株式会社、徳島バス南部株式会社、とさでん交通株式会社、富山地方鉄道、永井運輸株式会社、長電バス株式会社、南海りんかんバス株式会社、西東京バス株式会社、日本中央バス株式会社、根室交通株式会社、濃飛乗合自動車（濃飛バス）、バスネット津、八幡観光バス、東日本旅客鉄道株式会社、日立自動車交通株式会社、株式会社フジエクスプレス、船木鉄道株式会社、北振バス株式会社、北海道拓殖バス株式会社、三重交通、南信州地域交通問題協議会（南信州広域連合）、明光バス株式会社、最上川交通、山交バス、合同会社やんばる急行バス、横浜市交通局、龍神自動車株式会社、有限会社嶺北観光自動車
  - <コミュニティバス> 青木村、赤磐市、明石市、安芸市、秋田市、上松町、赤穂市、山形県朝日町、富山県朝日町、芦屋町、有田川町、淡路市、安城市、安堵町、安中市、飯島町、飯山市、伊賀市、池田町、伊勢市、市川三郷町、市川町、一関市、猪名川町、稲城市、いなべ市、いの町、揖斐川町、伊万里市、射水市、岩出市、上田市、魚津市、恵那市、奥州市、近江八幡市、大泉町、大江町、大垣市、大蔵村、大台町、大田原市、大月町、大町市、岡谷市、山形県小国町、小野市、尾花沢市、小矢部市、尾張旭市、遠賀町、海津市、海陽町、鏡野町、掛川市、加古川市、鹿児島市、加西市、笠松町、葛飾区、香取市、山形県金山町、可児市、河北町、嘉麻市、上市町、上勝町、神河町、上郡町、香美市、上山市、亀山市、加茂市、刈谷市、軽井沢町、川上村、川崎町、観音寺市、刈田町、木曾町、木曾岬町、北川村、北九州市、北島町、北名古屋市、紀の川市、岐阜市、紀宝町、君津市、清瀬市、草津市、郡上市、国立市、熊谷市、熊野市、黒部市、桑名市、芸西村、甲賀市、高知県、神津島村、香南市、神戸市、古賀市、国分寺市、湖南市、小松市、菰野町、寒河江市、酒田市、佐川町、鮭川村、寒川町、佐用町、三条市、塩尻市、静岡市、宍粟市、七ヶ浜町、志摩市、島田市、四万十市、四万十町、上越市、勝央町、小豆島町、庄内町、白鷹町、新温泉町、新宮町、新庄市、新城市、須恵町、杉並区、宿毛市、須坂市、須崎市、洲本市、諏訪市、関市、瀬戸内市、瀬戸市、添田町、台東区、高岡市、高砂市、高島市、高山市、宝塚市、田川市、多気町、武豊町、立川市、立山町、たつの市、田野町、丹波篠山市、茅ヶ崎市、築上町、千曲市、知多市、知立市、つくば市、津市、土浦市、津野町、燕市、津山市、鶴岡市、つるぎ町、天童市、東員町、東海市、東京都中央区、東北町、土岐市、徳島市、常滑市、土佐市、土佐清水市、戸沢村、砺波市、鳥羽市、富山市、豊明市、豊岡市、豊田市、豊山町、直島町、長井市、那珂川町、長久手市、那賀町、中津川市、中津市、中土佐町、長野市、長浜市、中山町、流山市、南木曾町、奈義町、那須塩原市、名張市、滑川市、鳴門市、南国市、南砺市、南部町、南陽市、新見市、西尾市、西川町、西東京市、西宮市、西脇市、日光市、日進市、二宮町、入善町、仁淀川町、葦崎市、直方市、白山市、階上町、羽島市、花巻市、早島町、飯能市、東浦町、東近江市、東根市、東みよし町、東村山市、東大和市、久山町、飛騨市、七宗町、日野町、姫路市、平戸市、福崎町、福津市、豊前市、北杜市、町田市、松江市、松阪市、松茂町、松戸市、松本市、真庭市、真室川町、瑞浪市、瑞穂町、御嵩町、三豊市、南あわじ市、南伊勢町、南知多町、美波町、美濃加茂市、三原村、壬生町、三宅村、みやま市、みよし市、三好市、宗像市、村上市、村山市、室戸市、本巢市、本宮市、本山町、守山市、矢板市、八百津町、野洲市、安田町、柳川市、山県市、山形市、大和郡山市、大和高田市、山辺町、結城市、横須賀市、吉野川市、四日市市、米沢市、栗東市、龍ヶ崎市、和気町、和光市、度会町
  - <フェリー> マルエーフェリー株式会社、備後商船株式会社、株式会社富士急マリンリゾート、羽幌沿海フェリー株式会社、阪九フェリー株式会社、姫島村、斎島汽船株式会社、鹿児島市船舶局、九商フェリー株式会社、丸文松島汽船株式会社、株式会社名門大洋フェリー、名鉄海上観光船株式会社、富士山清水港クルーズ株式会社、宗像市、鳴門市、日豊汽船株式会社、四国開発フェリー株式会社、酒田市定期航路事業所、三和商船株式会社、新宮町、周防灘フェリー株式会社、種子屋久高速船株式会社、鳥羽市、東海汽船株式会社、東京都観光汽船株式会社、津エアポートライン、宇和島運輸株式会社
  - <航空> 全日本空輸株式会社、東京国際空港ターミナル株式会社、成田国際空港株式会社、日本航空株式会社、日本空港ビルディング株式会社
  - <シェアサイクル> OpenStreet株式会社、株式会社ドコモ・バイクシェア
- **オープンデータ・パートナー**：PLATEAU、国土交通データプラットフォーム、一般社団法人デジタル地方創生推進機構（VLED）、総務省、気象庁、警察庁、国土地理院

# 募集内容

- 公共交通オープンデータを含めた様々なデータを最大限に活用した、地方での課題解決や新しいデータの利活用につながるアプリケーションやサービスを募集
- 1. 公共交通オープンデータセンターおよびGTFSデータリポジトリで公開されている、鉄道・バス・航空・フェリー・シェアサイクルなどの公共交通オープンデータを活用していることを必須
- 2. 公共交通オープンデータに加えて、国土交通省が公開する以下のオープンデータを活用することを強く推奨
  - Project LINKS
  - Project PLATEAU
  - ほこナビ（バリアフリー関連のオープンデータ）
- 3. オープンデータ・パートナーの提供する、各種オープンデータの活用も推奨

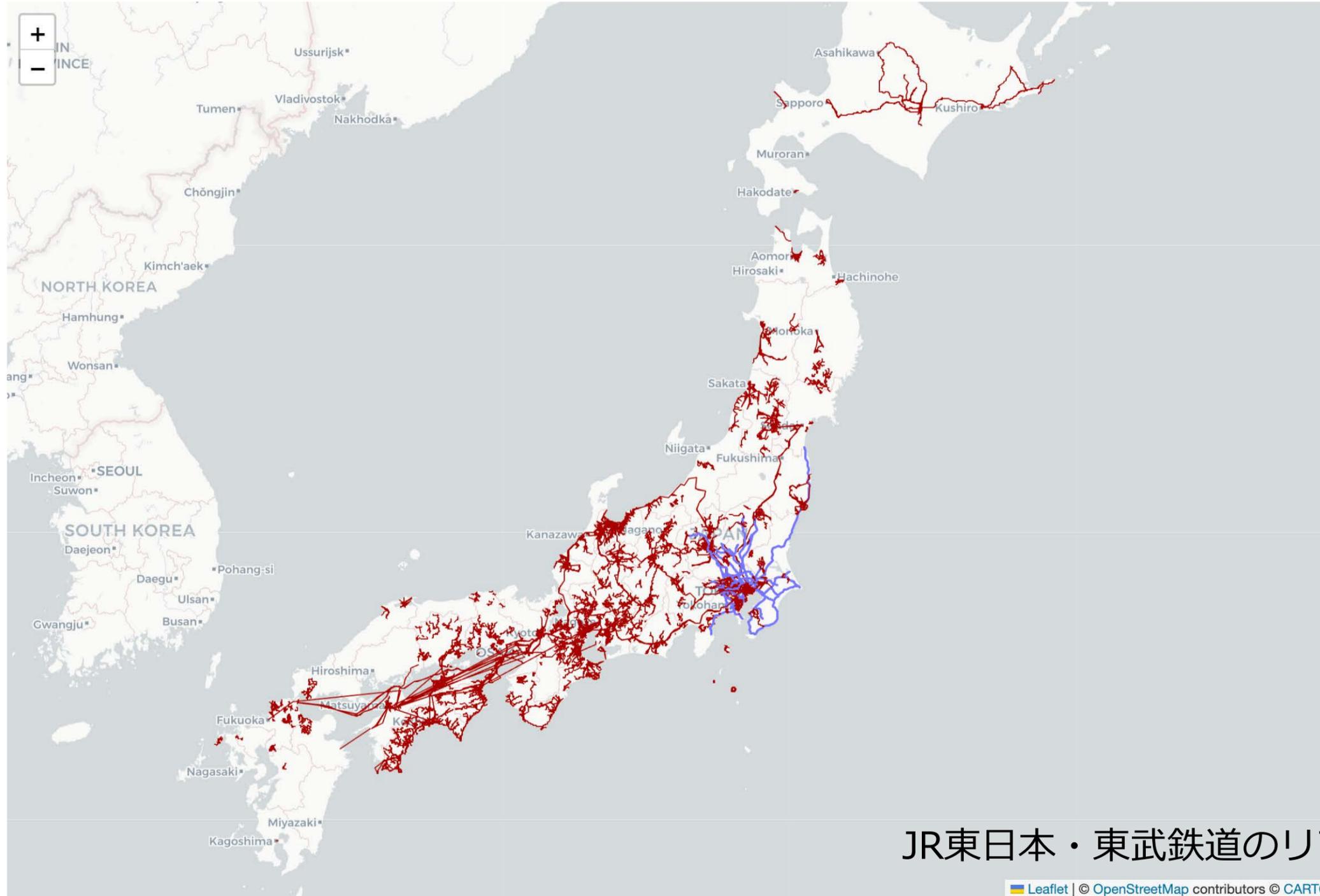
# データ公開する事業者数の推移

	事業者数	GTFS/GBFSデータ公 事業者数	リアルタイム データ公開 事業者数	GTFS realtimeデータ 公開事業者数
第1回 東京公共交通オープンデータチャレンジ (2017/12/07 ~ 2018/03/15)	22	0	3	0
第2回 東京公共交通オープンデータチャレンジ (2018/07/17 ~ 2019/01/15)	26	0	8	0
第3回 東京公共交通オープンデータチャレンジ (2019/01/16 ~ 2019/11/15)	32	0	8	0
第4回 東京公共交通オープンデータチャレンジ (2019/11/18 ~ 2022/01/31)	54	23	10	3
公共交通オープンデータチャレンジ2024 -powered by Project LINKS - (2024/07/16 ~ 2025/03/14)	96 (350)	84 (338)	30 (58)	22 (50)
公共交通オープンデータチャレンジ2025 -powered by Project LINKS -	<b>101</b> <b>(470)</b>	<b>87</b> <b>(456)</b>	<b>35</b> <b>(84)</b>	<b>28</b> <b>(77)</b>

ODPTデータセンター（または各回チャレンジ用サイト）から公開されたデータ数  
 カッコ内はGTFSデータリポジトリから公開されたデータを含む総数

# 日本の公共交通オープンデータの状況

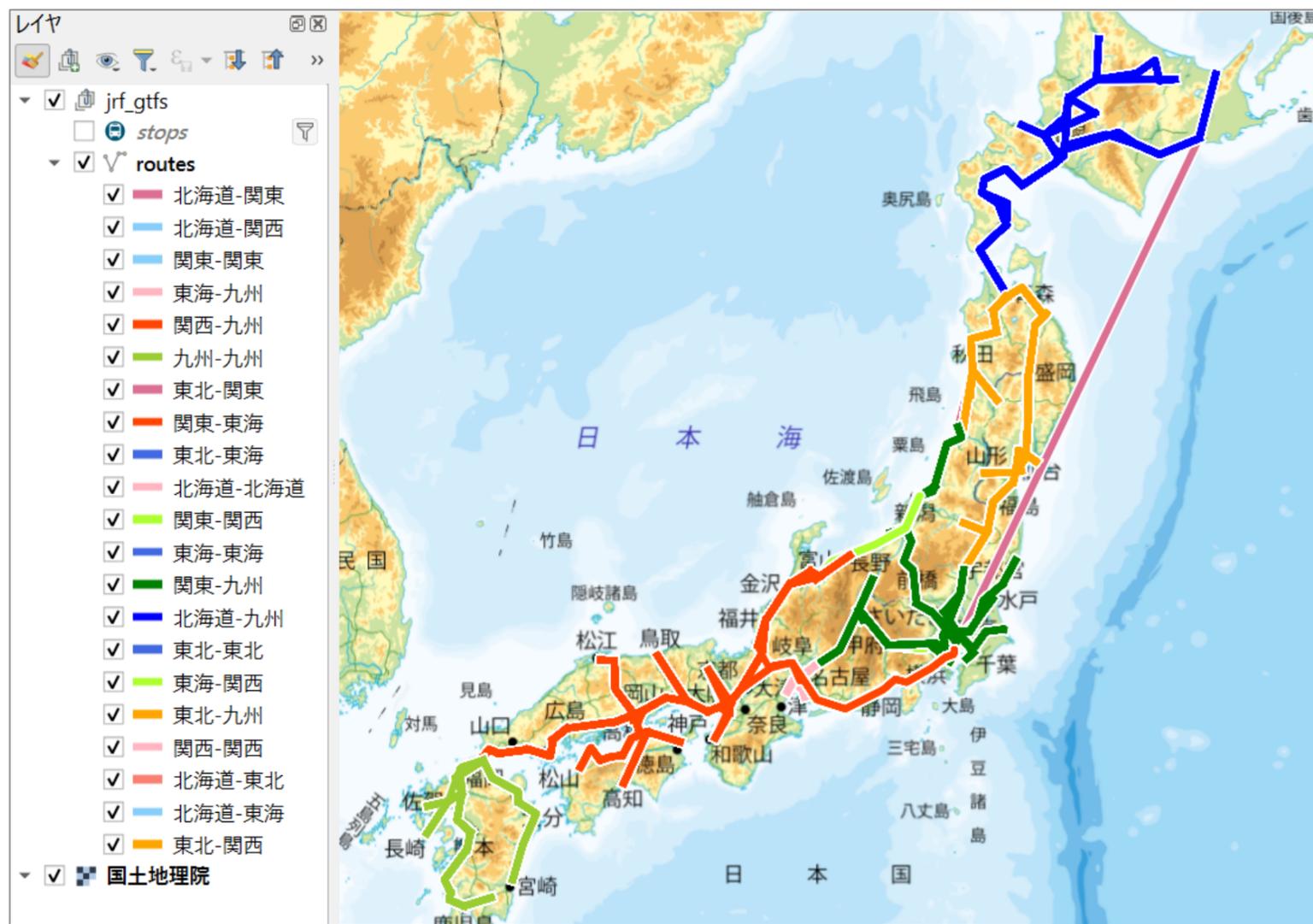
今回のチャレンジにおけるGTFSデータの公開状況は…



JR東日本・東武鉄道のリアルタイムデータも！

# JR貨物のGTFSデータの公開も

- 前回に引き続き、JR貨物のコンテナ時刻表のGTFSデータを、公共交通オープンデータチャレンジにおいて公開



# 審査と表彰

## ● 審査：以下の審査員により構成される審査会で作品を評価

### ■ 審査員長

- 坂村 健：公共交通オープンデータ協議会 会長、東京大学名誉教授

### ■ 審査員

- 内山 裕弥：国土交通省 総合政策局 モビリティサービス推進課/情報政策課 総括課長補佐
- Tzu-Jen Chan：GTFS Program Manager, MobilityData
- 山口 智丈：東日本旅客鉄道株式会社 マーケティング本部戦略・プラットフォーム部門デジタルビジネスユニット マネージャー
- 末廣 将志：SWAT Mobility Japan株式会社 代表取締役
- 別所 正博：INIAD（東洋大学情報連携学部）教授



## ● 評価基準：特に以下の観点を重視し、総合的に評価

- 社会課題解決への寄与
- オープンデータ活用におけるインパクト  
技術的な完成度
- UI/UX面の完成度

## ● 表彰：優秀と認められた作品に賞を授与

- 総額300万円を予定
- 優秀賞等のほかに、特別賞を設ける

---

# 前回のチャレンジでは...

---

# 公共交通オープンデータ チャレンジ 2024

賞金総額  
**300**  
万円

— powered by Project LINKS —

公共交通オープンデータの活用を競う、通算 **5** 回目のアプリケーションコンテスト

今回は公共交通オープンデータ協議会と国土交通省が主催

コンテスト実施期間：2024年7月16日（火）～2025年3月14日（金）

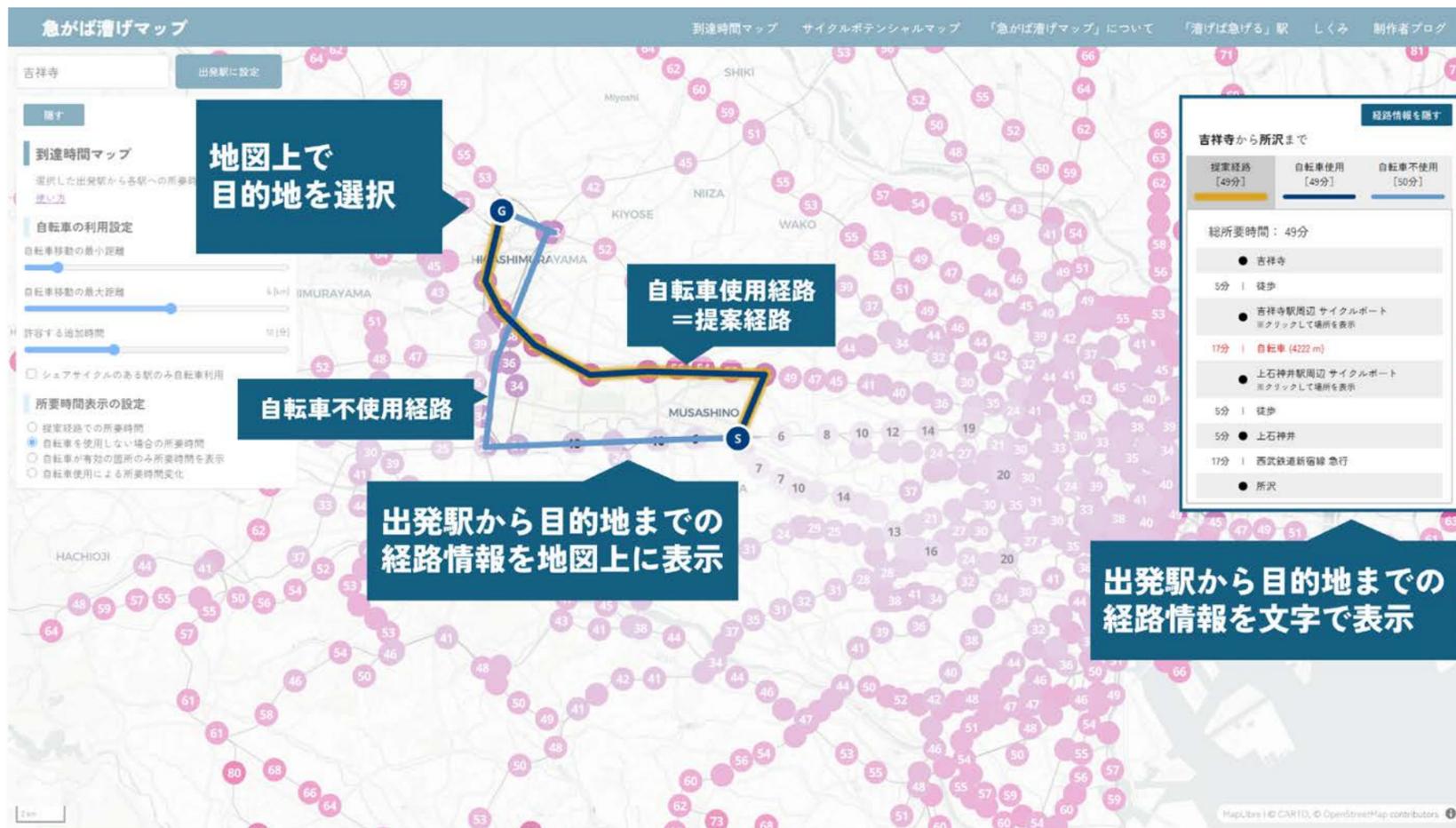
応募期間：2024年10月1日（火）～2025年1月17日（金）

国内外の約 **500** 人の開発者がエントリー

# 最優秀賞「急がば漕げマップ」 (応募者: 西片トコトコ探索会)

## ● 首都圏での移動において鉄道よりも自転車を利用したほうが効率的なルートを簡単に検索できるツール

- ODPTチャレンジで提供された鉄道関連データ、シェアサイクル関連GBFSデータのほか、大都市交通センサスのオープンデータも活用



# 準最優秀賞「PoiCle / ぽいくる」 (応募者: チームぽいくる)

- 駅・停留所・特定の緯度経度に列車・バスが接近した際に通知を送ることができるGTFSリアルタイムベースの通知システム
  - 基盤地図情報の数値標高モデルやProject PLATEAUのデータを活用し、海が見えるエリアで通知を行う機能も提供



# 準最優秀賞 「RailroadCrossFree」

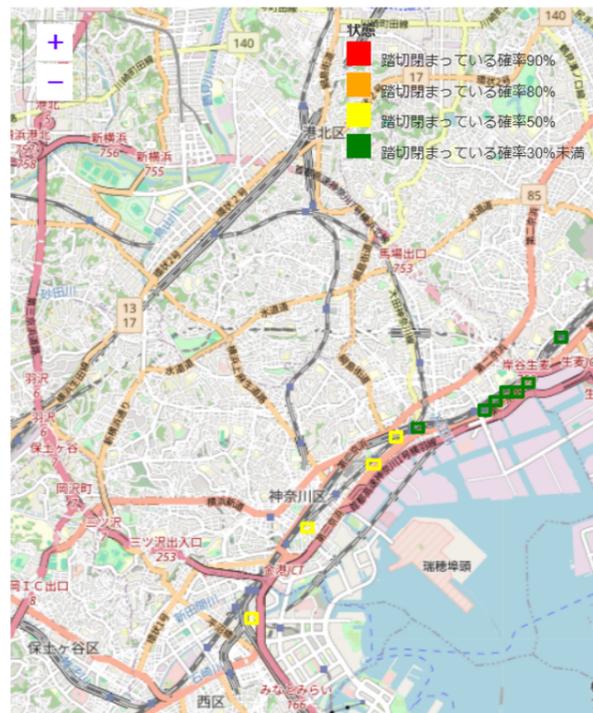
(応募者:金海英・正治咲良・佐藤彰洋)

● 踏切における待ちを避ける意思決定を支援するために、踏切による停止確率を推定し可視化するサービス

■ 京急電鉄の列車口ケーション情報のデータを活用

京急踏切開閉状態モニター

データ取得時刻	次回更新まで残り時間	更新タイミング
2025年02月13日 16時53分07秒	26秒後にデータを更新します	30秒ごとに更新



踏切名称	列車数	エリア	踏切遮断確率
品川第1踏切	0	Shinagawa~Kitashinagawa	0%
品川第2踏切	0	Shinagawa~Kitashinagawa	0%
北品川第1踏切	0	Kitashinagawa~Shimbamba	0%
京急川崎第1踏切	2	KeikyuKawasaki~HatchoNawate	80%
八丁堀第1踏切	1	HatchoNawate~Tsurumijichiba	50%
八丁堀第2踏切	1	HatchoNawate~Tsurumijichiba	50%
京急鶴見第4踏切	0	KeikyuTsurumi~Kagetsusojiji	0%
生麦第1踏切	0	Namamuoi~KeikyuShinkovasu	0%
生麦第2踏切	0	Namamuoi~KeikyuShinkovasu	0%
生麦第3踏切	0	Namamuoi~KeikyuShinkovasu	0%
生麦第4踏切	0	Namamuoi~KeikyuShinkovasu	0%
生麦第5踏切	0	Namamuoi~KeikyuShinkovasu	0%
京急新子安第1踏切	0	KeikyuShinkovasu~Kovasu	0%
京急新子安第2踏切	0	KeikyuShinkovasu~Kovasu	0%
子安第1踏切	1	Kovasu~KanagawaShimmachi	50%
神奈川新町第1踏切	1	KanagawaShimmachi~KeikyuHigashikanagawa	50%
京急東神奈川第1踏切	1	KeikyuHigashikanagawa~Kanagawa	50%
横浜第1踏切	1	Yokohama~Tobe	50%
東大田第2踏切	1	Minamiota~Idogava	50%
井土ヶ谷第1踏切	1	Idogava~Gumyoji	50%
群馬ヶ渡第1踏切	0	Byobugaura~Suaita	0%
杉田第1踏切	2	Suaita~KeikyuTomiooka	80%
杉田第2踏切	2	Suaita~KeikyuTomiooka	80%
紙見台第2踏切	2	Nokendai~KanazawaBunko	80%
紙見台第3踏切	2	Nokendai~KanazawaBunko	80%
金沢文庫第2踏切	0	KanazawaBunko~KanazawaHakkei	0%
金沢八景第1踏切	2	KanazawaHakkei~Ooqama	80%
金沢八景第4踏切	2	KanazawaHakkei~Ooqama	80%
金沢八景第5踏切	2	KanazawaHakkei~Ooqama	80%
追浜第1踏切	0	Ooqama~KeikyuTaura	0%
追浜第2踏切	0	Ooqama~KeikyuTaura	0%
追浜第3踏切	0	Ooqama~KeikyuTaura	0%
追浜第4踏切	0	Ooqama~KeikyuTaura	0%
追浜第5踏切	0	Ooqama~KeikyuTaura	0%



今回のチャレンジを機に...

ぜひ公共交通データのオープン化を  
ご検討ください！



# (参考) ライセンスの比較

- 公共交通オープンデータセンターでは、公共交通事業者様のご事情に合わせて、公開するデータのライセンスを選択いただくことが可能です
  - 選択可能な主なライセンスとして、以下をご用意しています
    1. CC 0
      - その著作物に関する権利を手放すことを意味し、利用方法に一切関与することはできません
    2. CC BY 4.0
      - 適切なクレジットを表記することを条件に、営利・非営利を問わず、自由に複製・再配布・改変することができるライセンスです
      - 公共データ利用規約（第1.0版）（旧「政府標準利用規約2.0」）と互換性があり、日本の行政ではオープンデータの標準的なライセンスとして位置付けられています
    3. 公共交通オープンデータ基本ライセンス
      - 一般的なオープンデータと同様に、営利・非営利を問わずデータを利用することができますが、データの再配布に制限を行っているほか、いくつかの制約（データが変更された場合の更新を求める点など）をもつライセンスです
      - 交通事業者様のご懸念（古い時刻表が出回り、利用者の利便性を損なう懸念など）を踏まえて策定されたものです
    4. (参考) 公共交通オープンデータチャレンジ限定ライセンス
      - 公共交通オープンデータチャレンジ2025 – powered by Project LINKS – 限定でデータ公開をするためのライセンスです
      - 目的外の利用は禁止されています
- ※ その他、独自ライセンスの設定も可能です

# (参考) ライセンスの比較

## 標準的なオープンデータライセンス (CC BY 4.0等)

- 国際的な標準ライセンス
- 日本政府のオープンデータの定義に合致  
(国土交通省も推奨)
- 自由なデータ活用によるイノベーション創出が、特に期待できる
- 免責事項がセットになっている。
  - 無保証：データ提供者はコンテンツの正確性等を保証しないこと
  - 責任制限条項：コンテンツを用いて行う一切の行為に公表者は責任を負わないこと
- 商用サービスだけでなく、ハッカソンやプロトタイプ開発、学術研究など自由な利用を重視したライセンス

## 公共交通オープンデータ基本ライセンス (独自ライセンス)

- 交通事業者のオープンデータに関するご心配を踏まえたライセンス (古い時刻表が出回り、利用者の利便性を損なう懸念等)
- 自由なデータ活用を許可しているが、データの再配布の禁止やデータ変更時のサービスへの反映、サービス利用者へのデータ提供者の免責明示等の利用制限を課す
- 免責事項がセットになっている
  - (免責事項については左と同じ)
- 乗換案内サービスなど公共交通事業者が懸念するサービスへの利用を重視したライセンス

※利用許諾 (ライセンス) は、データ提供者と利用者の中で契約として作用します。

今回のチャレンジを機に...

ぜひ公共交通データのオープン化を  
ご検討ください！

